

会 議 録

【事業番号 8 食育推進費】

- 1 会議名 令和元年度第 2 回市民行政評価委員会
- 2 日 時 令和元年 10 月 30 日（水）午後 3 時 15 分～3 時 45 分
- 3 場 所 第 3 委員会室
- 4 出席者
 - (1) 市民行政評価委員会委員
岡田委員長、山口委員、坂下委員、古委員、山崎委員
佐々木委員、竹下委員、林委員、三原委員、村上委員
 - (2) 事業担当課（地域保健課）
仙石課長、長井係長
 - (3) 事 務 局（行政経営課）
松本課長、安藤課長補佐、二木係長、神田主査
- 5 審議内容
 - 評 価 委 員 : 市内の食生活改善推進員の総数及び人数の推移について教えてほしい。（事前質問）
 - 事業担当課 : 食生活改善推進員について、平成 30 年度における市内の食生活改善推進員数は 213 名である。平成 20 年度との対比では、市内の推進員は約 18%の減少、全国の推進員は約 23.8%の減少であり、いずれも減少している。[詳細は別表 1 参照]
 - 評 価 委 員 : 事業費の内訳を教えてほしい。（事前質問）
 - 事業担当課 : 食育推進費は、栄養改善対策費、食生活改善推進員育成事業費、食環境づくり推進費、金沢市食育推進実践本部費の 4 事業で構成されている。[詳細は別表 2 参照]
 - 評 価 委 員 : 食生活改善推進員が地域で活動するための仕組みはどのようなものか。予算面、広報告知面など、本事業でどのように関与しているのか。（事前質問）
 - 事業担当課 : 食生活改善推進員に係る組織については、農林水産省がトップにあり、その下に一般財団法人日本食生活協会があり、こちらが取りまとめを行っている。そして、保健所ごとに協議会が組織されている。石川県内には 5 つの保健所があるため、保健所単位で金沢市にも 1 つあるということになる。[詳細は別表 3 参照]
金沢市食生活改善推進協議会の主な活動内容は、一般財団法人日本食生活協会の委託事業、石川県食生活改善推進協議会の委託事業並びに

食育推進カー「ごはんだ号」による訪問減塩活動や若者食育推進事業調理支援活動などの金沢市委託事業である。[詳細は別表 4 参照]

評価委員：過去、食生活改善推進員育成事業によって何人の食生活改善推進員を育成したのか。また、現在何名登録し、平均年齢は何歳か。
(事前質問)

事業担当課：金沢市では、平成 6 年度から食生活改善推進員養成講座を開催し、延べ 598 人が養成講座を受講し、現在は 213 名が活動している。
平均年齢は 67 歳である。

評価委員：食生活改善推進員育成について、養成講座を受講した後の活動の場は。また、推進員の高齢化、若い方の推進員の増やし方は。
(事前質問)

事業担当課：養成講座受講後の推進員活動については、金沢市食育推進計画(第 3 次)を踏まえ、健全な食生活が実践できる市民を育てるため、一般財団法人日本食生活協会、石川県食生活改善推進協議会からの委託事業に加えて、金沢市委託事業への積極的な活動をお願いしている。

特に若者の食育を推進するため、大学や保育所(園)・幼稚園等の協力をいただきながら、食育推進カーを活用した訪問型活動を実施し、推進員の活動の場を増やしている。

従来の料理教室方式の活動に加え、地域等を訪問し、直接の市民に食生活改善(減塩、野菜摂取)をアピールすることで、推進員自身も活動への意欲が向上している。

推進員の高齢化、若い年代層の推進員養成については、推進員全体の年齢構成は変化していくが、20年以上活動している推進員も多く、協議会全体のレベルアップにも貢献する存在となっている。また、人生経験を重ねた推進員の知恵を活用することは、これからの食生活改善の実践に必要であると考えているので、今後も無理のない範囲で活動を続けていただきたい。

若い年代層の推進員の養成は全国的な課題であるが、養成講座の開催回数の増加や、食育推進カーでの地域等訪問で実際の活動を見ていただくことにより、受講者の増加へつなげていきたい。

評価委員：事務事業評価表に、総事業費が人件費を含めて約 5,800 万円とあるが、人件費はどこで使われているのか。

事業担当課：保健局全体の仕事をするための管理栄養士の人数が 7.6 人であり、こちらに 1 人あたりの人件費単価を掛け合わせ、自動的に算出されている。

- 評価委員 : 現在、213名の食生活改善推進員が活動されており、これまで延べ598人が養成講座を受講したとのことだが、昨年度の養成講座受講者は10名である。激減しているように思うが、理由は何か。
- 事業担当課 : 食生活改善推進員養成講座の受講者数については、ここ数年は年間10名程度であり、昨年度が特別少なかったわけではない。当該養成講座は、平日昼間の5日間出席いただき、20時間受講いただいている。主な活動が平日の昼間ということもあり、このような日程になっているが、特に働いている現役世代が出席するのはなかなか難しい。5日間全て出席するのが困難な受講者に向けて、補習等を行うことで、受講者数を増やしていきたいと考えている。
- 評価委員 : 以前はなぜ受講者数が多かったのか。カリキュラム等が現在と異なっていたのか。
- 事業担当課 : この事業を開始した当初は、現在の倍のカリキュラムで、10日間で40時間であったが、1回で40名近くの応募があったこともある。まだボランティアが珍しい時代で、食ということで女性に関心を持っていただいたためと思われるが、近年は様々なボランティアがあることから、年間10名程度の受講者となっている。
- 評価委員 : 受講者は、いわゆる専業主婦が多いのか。
- 事業担当課 : 近年は様々な働き方があるため、仕事をしつつ、少し時間のある時に来ますよと言ってくる方もいる。
- 評価委員 : カリキュラムの5日間20時間というのは、平日に5日間連続して開催するのか。それとも、例えば週に1回で5週間というように開催するのか。
- 事業担当課 : 週に1回、曜日を変えて開催している。受講できなかった方は、別の講座を年度内に受けていただくことで、振替受講としている。
- 評価委員 : 講座は、ビデオではなく対面か。
- 事業担当課 : そのような講座もあれば、調理実習もある。
- 評価委員 : 私も以前、食生活改善推進員養成講座を受講したことがあるが、以前より高齢化が進んできているように感じる。受講のあり方や時間数など、見直しを行う考えはあるか。
- 事業担当課 : 養成講座については、日本食生活協会により5日間で20時間と定められており、時間数は変更できない。そのため、補習の設定や夜間の開催などで柔軟に対応していきたい。

- 評価委員 : 高齢化が進んでいるというのも理解できるが、60代くらいの方々が一番頑張っているという状況もある。
ただ、この状況が続いて、70代が現役のようなかたちは困るかもしれない。
以前、市内の中学校で魚のおろし方講座を行っていたが、その後どうなったか。何校にて開催したか。
- 事業担当課 : 6校である。
- 評価委員 : その後開催されていないようなので、このような事業はぜひ続けてほしい。
- 評価委員 : 食生活改善推進員は、法令上必ず配置しなければならないものか。
- 事業担当課 : 必ず配置しなければならないものではない。
元々厚生労働省の事業であり、通達により実施している。
- 評価委員 : 食生活改善推進員がいない自治体もあるのか。
- 事業担当課 : ある。
- 評価委員 : 食生活改善推進員養成講座の受講について、個人負担はあるのか。
- 事業担当課 : テキスト代や実習の食材費も含めて、個人負担はない。

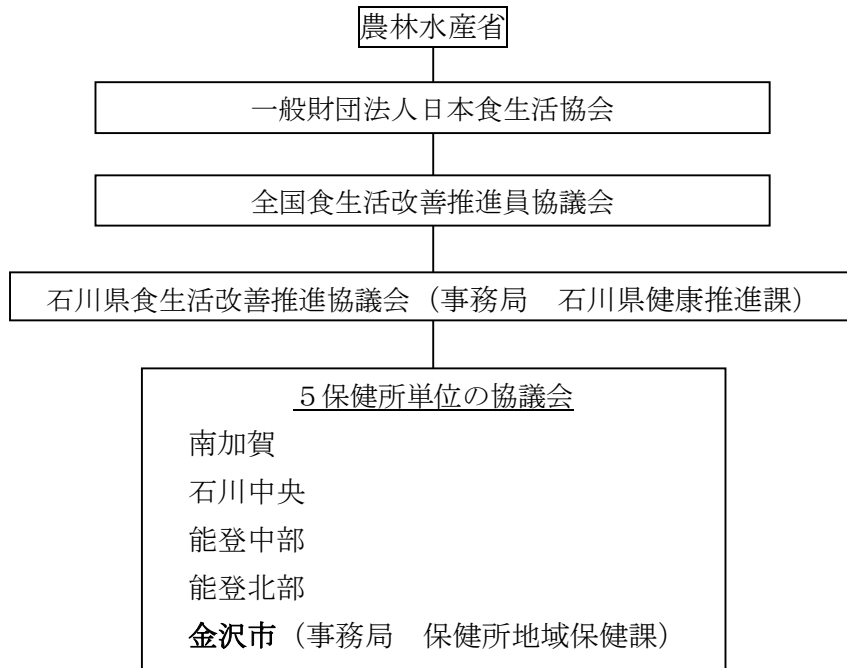
別表 1

年度	市内食生活改善推進員数	(参考) 全国食生活改善推進員数
平成 20 年度	256 人	182,827 人
平成 21 年度	256 人	177,461 人
平成 22 年度	247 人	171,107 人
平成 23 年度	224 人	165,583 人
平成 24 年度	212 人	161,708 人
平成 25 年度	207 人	157,302 人
平成 26 年度	203 人	152,049 人
平成 27 年度	212 人	148,093 人
平成 28 年度	212 人	143,736 人
平成 29 年度	210 人	139,290 人
平成 30 年度	213 人	未集計

別表 2

事業名	事業内容		平成 30 年度 決算額
栄養改善対策費	11 節	調理器具等購入代	17,776 円
		栄養関係法規集追録代	80,619 円
	12 節	切手	59,942 円
食生活改善推進員育成事業費	8 節	スキルアップ研修講師謝礼 @8,000×2 時間×3 回	48,000 円
	11 節	スキルアップ研修食材費 (現役)	27,620 円
		養成講座テキスト (新人)	23,760 円
		養成講座食材費 (新人)	30,589 円
12 節	切手代 養成講座テキスト送料 (新人)	11,890 円 1,000 円	
食環境づくり推進費	11 節	賞状額等	46,440 円
金沢市食育推進実践本部費	8 節	実践本部委員謝礼	169,000 円
	11 節	飲料代	2,000 円
合計			518,636 円

別表 3



別表 4

1	<p>一般財団法人日本食生活協会委託事業（参加者公募）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやこの食育教室 ・男性のための料理教室 ・生涯骨太クッキング ・世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業 ・「食育の日（6月19日）」普及事業
2	<p>石川県食生活改善推進協議会委託事業（参加者公募）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしかわヘルシー&デリシャスメニュー普及事業 ・米粉料理普及教室
3	<p>金沢市委託事業・・・金沢市食育推進計画（第3次）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進カー「ごはんだ号」による訪問減塩活動 (H30 17回 R元 28回予定) ・若者食育推進事業調理支援活動 (テーマ H29 魚食 H30 和食 R元 野菜) ・シニアクッキング（一般介護予防事業）調理支援活動 ・健康づくりフェア